

# 久御山学園学習スタンダード実践例

## 深い学び編

久御山学園学力向上部

出会い	出会いをしかける！ 興味をもたせる！	子どもの意欲を引き出すしかけを設定しましょう。
深い学び	交流で考えを 深めさせる！	一人学びで、すべての子どもに 自分の考えをもたせましょう。 明確な目的をもって 交流の場を設定しましょう。
ふり返り	学びの変化を感じさせる！	授業を通してできるようになったことを自分の言葉でま とめさせましょう。

### 『深い学び』とは・・・

子どもたちが自分の考えを持ち、多様な考えを分類・比較しながら話し合う活動を通して、自分の考えを広げたり、深めたりすること

### 久御山学園が目指す『深い学び』とは？

子どもたちが、  
「あれ？どうして？」「知りたい！」「やってみたい！」  
と感じた気持ちを原動力として、課題に対して、既習事項  
を活用したり、情報を集めたりする活動に主体的に取り組  
み、自分の考えを構築していきます。その自分の考えを仲  
間と伝え合い、自分の考えと比較・修正したり、自分の考  
えをより詳しく説明できるよう深めたり  
しながら、新しい知識を獲得したり、よ  
り良い方法を見い出していきます。  
教師は、子どもたちが自らの力で「深い  
学び」を実現させるための支援を行って  
いきます。



## 「深い学び」を支える学習基盤

友達の意見を傾聴する、自分の意見を表現する、意思表示をするといった主体的な学習活動のためには、それを支える「学級集団」を築くことが大切です。

意図的・計画的な学級経営の視点  
年間を見通して、どんな力を育てたいのか  
という目標設定（短期・中期・長期）

良い言動を学級に価値付けていく！

- ・学年、学級目標を達成するための自治的な取組
- ・話し方、聴き方の指導
- ・グループワーク
- ・ソーシャルスキルトレーニング
- ・人権教育

## 就学前の遊びの中で ～色々な廃品、材料を使って船を作ろう～（4歳児）

いつも使って遊んでいる身近な材料を、イメージ豊かに作って遊べるように整理して置いておく。早速、見つけた子ども達が、「これ何？お船になるんとちがう？」・・・と考え、船作りが始まった。

### <事例会話文>

A児 「先生見て！これ何やと思う？」

保育者「旗かな？」

A児 「そう！旗カッコイイやろ。」

保育者「どうやって作ったの？」

A児 「テープを折ったらぺったんこになるやろ。それをここに貼ったら・・・ほら！」

保育者「ほんとだ！よく考えたね。」

それをじっとみていたB児が、何も言わずに旗を作り始めた。

C児 「Bちゃんの旗、めっちゃいい。すごいな。」

保育者「ほんと！Bちゃんも素敵な旗ができたね。」

B児 「A君の見ていいなと思って作ってみてん。」

それを聞いていたA児も、とても嬉しそうにしていた。



### <保育者の読み取り・援助>

- ・ A児のアイデアを認め、受け止めたことが、周りの子ども達も気づくきっかけとなったようだ。
- ・ A児の作り方を真似て、B児が自分なりの旗を作った。友達や保育者に認められた嬉しさとA児に対する思いが感じられる。また、B児に認められたA児は大きな喜びとなり、自信につながっていく。

- ・ 一人の子どもの考え・思いを丁寧に受け止め、認めることが他の子ども達にも気付きや刺激となっていく。その中で、保育者のかかわりは、とても大きな意味をもつ。
- ・ 子ども達がイメージ豊かに制作したり遊んだりするには、日頃から牛乳パックや空き箱・カップなど色々な廃品や材料を自由に使って遊べる環境を用意し、慣れ親しませておくことが、重要である。
- ・ A児のアイデアをB児が認め憧れに思う気持ちから、今度はB児がC児に認められるという共感の広がりが、ひとつの遊びを豊かに広げていく。